

プロフィール



名前	三浦 健人
所属部署	広島大学 原爆放射線医科学研究所 疾患モデル解析研究分野
職種	助教
この研究室に入った日	2020年4月1日
出身地	宮城県大崎市 (旧鳴子町)
趣味	お金の勉強

インタビュー

Q1 現在の研究内容を教えてください。

- 学生時代 (東大 獣医解剖) → 哺乳類の性分化、組織学
- ポスドク時代 (理研BRC 遺伝工学基盤技術室) → マウス胚操作、顕微操作、ゲノム編集
- 現在 → 上述の技術も利用して免疫/アレルギー/T細胞の研究を行ったり、それらの研究に有用な疾患モデルマウスを作出したりしています。

Q2 研究者を志したきっかけは？

学部生時代は民間企業への就職活動をしたり (全滅)、公務員試験を受けたり (辞退) と迷走しましたが、研究というものをもっと知りたくて大学院・ポスドクに進みました。

Q3 若手研究者へのメッセージ

貧すれば鈍します。家計に問題がなければ、その他のトラブルの多くは些細な事です。Twitter「博士の生活講座 (@hakase_seikatsu)」で、研究者の生活を少しでも良くする情報を発信しています。他学会の会員誌で恐縮ですが、下記の記事も是非お読みください。

研究者は...

- ポジションが不安定
- 稼ぎ始めるのが遅い
- 成果が家計に直結



資産形成なし

資産形成あり

家計に不安あり
→やりたい研究ができない

家計の不安を軽減
→やりたい研究に集中



図1. 研究者が資産形成に取り組む意義

1. 支出の見直し

- 保険、スマホ、マイカー

2. 生活防衛資金の確保

- 最低限の生活費 (半年～1年分)

3. 近い将来に必要なお金の確保

- 15年以内に使うお金 (教育資金など)

4. つみたてNISAで投資信託を購入

- 証券口座 (つみたてNISA口座) を開設
- 毎月一定額のインデックスファンド購入 (40万円/年まで)



図2. 資産形成の手順

「若手研究者のための資産形成術」 実験動物ニュース 2023年 Vol. 72 No. 1 pp.25-29

<https://www.jalas.jp/info/news.html>